# 関係団体ヒアリング　農業分野（報告）

1　日　時　令和元年 9 月 26 日（火）　15：00～16：00
2　場　所　議会第 2 会議室
3　団体名　認定農業者連絡協議会
4　参加者　認定農業者連絡協議会 8 名
　　関係所属　農林振興課 2 名

合計 10 名

## 参加者の主なご意見

### ✿10 年前から良くなったこと✿

- 新規就農者関係の補助金があるため、新規就農者が増えた。
- コミュニティバスが増えた。

### ✿10 年前から悪くなったこと・最近困っていること✿

- 少子高齢化によって後継者が不足している（新規就農者よりもやめていく人が多い）。
- 補助事業を有用に活用したいが、生産者に情報が入ってこない。
- 中山間地域で荒れた畑が増えている。
- 道路が狭く、不自由（茂木地区）。
- 10 年前は現役だった人が高齢者になってきており、10 年後のことを考えると不安だ。
- 畑が狭い（茂木地区）。
- 水が不足している。台風で塩害を被ったときに、水を掛けたいが足りない場合がある（日吉地

区）。

- 中山間地域の畑の灌漑（かんがい）施設が老朽化しているが、補助がないので負担になってきている。
- 畑に水を吸い上げるモーターが古くなり、壊れる可能性があるが、金額が高く自己負担では修理が難しい。人が減り1人当たりの負担が増えてきている（日吉地区）。
- 防波堤ができたことで、台風等の際に海水が舞い上がってしまい、以前より塩害が増えた。（日吉地区）
- 田んぼを作っている人が高齢化する等で、藁（わら）が不足している（外海地区）。

## ✿これから10年間、市にして欲しいこと✿

- 補助事業について、分かりやすく情報発信・提供してほしい。
- 農業を通して市民との交流の場づくりをしてほしい。
- 長崎市は県内の他の市と比べると大規模整備が進んでいないので、進めてほしい。
- 防波堤に当たった潮が農地に降りてくる塩害を防ぐため、県と協議して、奥に防波堤を作ってほしい。（日吉地区）
- 個人では難しい情報発信や通信設備の整備の支援をしてほしい。
- 情報発信がバラバラであるので、専門家を雇用して売り込みをする等、支援してほしい。
- 新しい手法を考えないと農業は厳しくなる。個別・ブランド販売をサポートするような支援をしてほしい。
- 旅行客が観光バスでいちご狩りなどができるように、大型観光バスが入ることができるような、道路整備をしてほしい。
- 長崎の地形はすり鉢状で狭い畑でほそぼそと農業をしていくしかないという考えもあるが、狭いなら狭いなりのやり方、個性がある。農業者だけでなくいろいろな分野の人の意見を聴いて長崎の個性を生かしたアイデアを考えてほしい。
- コミュニティバスを利用するお年寄りが、買い物をする際に荷物を運ぶのが大変なので、バス停ごとに手押し車を設置するとよいと思う。

## ✿これから10年間自分たちでしたいこと✿

- 一般の市民に来ていただいて、休日に農業をしてもらう取り組みを推進してみたい。狭い畑を活用することで荒れる畑が減る。（茂木地区、田手原地区）
- 収穫をしきれなくなったハウスを活用してイチゴ狩りをするやり方を検討する。（大村市のシュシュは上手に運営している。）
- びわ農家で、新しい販売の仕方を考えていく。